

第3次朝来市総合計画 改訂版の策定



企画総務部 総合政策課

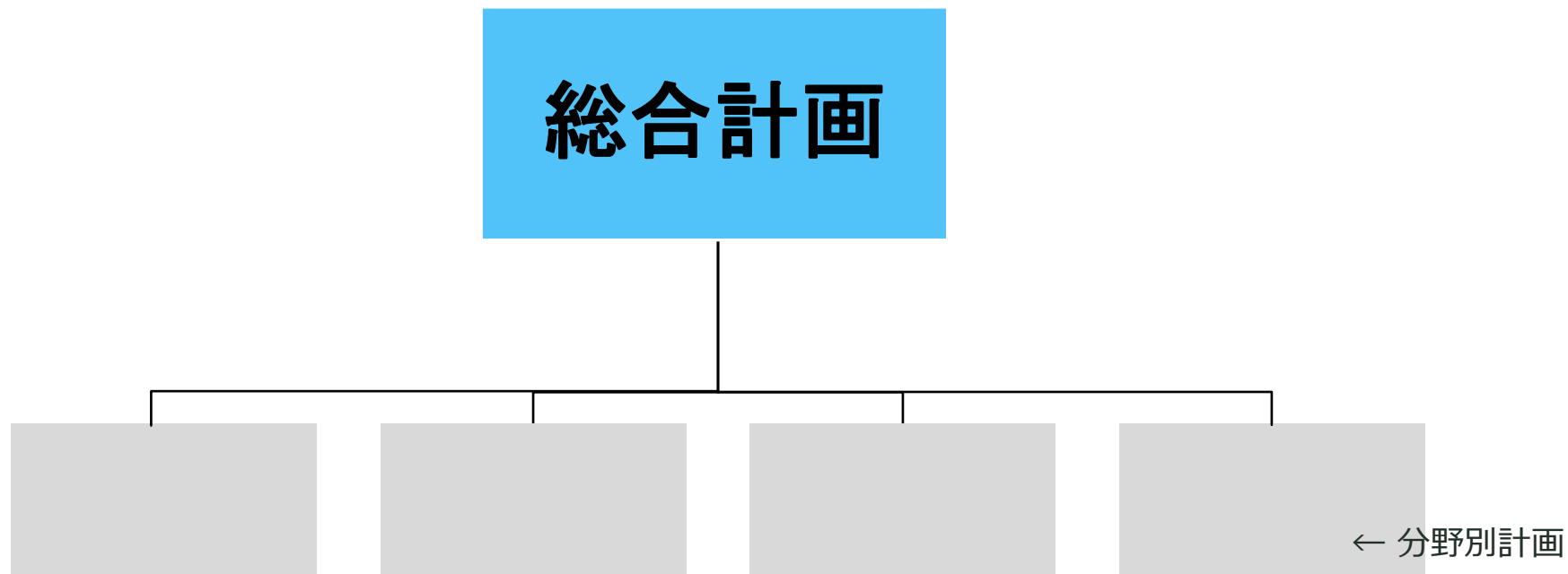


目次

1. 総合計画とは
2. 政策指標と人口の現状
3. 今回の改訂のポイント
4. これから、ともに進めるまちづくり

1. 総合計画とは

総合計画の位置づけ



**総合的かつ計画的な市政運営を図るため
市の政策を定める最上位の計画**

1. 総合計画とは

■第1次朝来市総合計画(平成19年度～平成28年度)

人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市

- 合併によるスケールメリットを活かしながら、一体感のあるまちづくり
- 地域協働・地域自治システムの構築による市民自治のまちづくり

■第2次朝来市総合計画(平成26年度～令和3年度)

あなたが好きなまち・朝来市

- 人口政策を最重要課題と位置付け
- 人口が少なくなっても市民が幸せに暮らしていけるよう地域力の維持・向上

■第3次朝来市総合計画(平成4年度～令和11年度)

人と人がつながり
幸せが循環するまち
～対話で拓く朝来市の未来～

- 人口が減少する中でも、市民一人一人が
幸せを実感できるまちづくりを推進
- 市民対話を通じて
市民参画のまちづくりを推進
- 未来へのまなざし



目次

1. 総合計画とは
2. 政策指標と人口指標
3. 今回の改訂のポイント
4. これから、ともに進めるまちづくり

第3次朝来市総合計画の政策指標
「朝来市民の幸福度」(Asago Well-Being Indicator)

幸せ = ウェルビーイング (Wellbeing)

≠ ハピネス (happiness) …ワクワクするなど短い時間の感情

ウェルビーイング (Wellbeing) とは…

「こころ」も「からだ」も「社会的」にも満たされた状態

社会の中で孤立せずに他人と良い関係を持つことができ、自分の居場所や役割を持つことのできる社会

2. 政策指標と人口指標

■将来推計人口 人口目標と直近推計値の比較

推計内容	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和32年 (2050)
第3次朝来市総合計画人口目標	30,805人	—	20,000人
上記人口目標に 令和2年国勢調査結果を反映	30,805人	28,989人	約19,500人 目標値比 ▲500人
社人研推計(R5.12)	30,805人	28,989人	約17,400人 目標値比 ▲2,600人

2. 政策指標と人口指標

令和6年4月に人口戦略会議は、2020年から2050年までの30年間に若年女性人口が5割以上減少する市区町村を「消滅可能性自治体」として発表。

→全国1,729自治体のうち、744自治体が該当(※朝来市も消滅可能性自治体に該当)

■各市町の若年女性人口の減少率と変化

※若年女性人口…20歳～39歳の女性人口

	若年女性人口減少率		前回との比較
	平成26年5月時点	令和6年4月時点	
朝来市	▼63.5%	▼53.6%	9.9%改善 ↗
養父市	▼58.3%	▼58.1%	0.2%改善 ↗
豊岡市	▼48.8%	▼49.9%	1.1%悪化 ↘
丹波市	▼50.4%	▼48.7%	1.7%改善 ↗
福知山市	▼44.2%	▼28.1%	16.1%改善 ↗

- 人口政策を最重要課題として取り組んできた成果が出てきている。
- 地域力の維持向上を図るため、若者に選ばれるまちを目指すことが、結果として人口減少の抑制につながる



目次

1. 総合計画とは
2. 政策指標と人口の現状
- 3. 今回の改訂のポイント**
4. これから、ともに進めるまちづくり



市民の皆さんの「やりたい」を意識した取組を推進 (市民参画)



市民一人一人の朝来市民の幸福度(Wellbeing)の向上
将来像の実現 (政策指標の向上)



施策全般に若者の視点を盛り込む



市民の皆さん(特に若者や女性)に
「住みたい」「住み続けたい」と思われるまちを目指す
地域力の維持・向上につながる (人口指標)

3. 今回の改訂のポイント

■若者・女性の視点の取組・連携イメージ

自分らしい生き方・暮らし方が 実現できる「環境」づくり

仕事とプライベート（子育て、趣味、活動等）
が相乗する環境づくり

様々な「つながる場」づくり

- ・ タテ割からヨコつなぎへの転換
- ・ 気軽につながる・集まる場づくり
- ・ 若者・働く世代の対話の場づくり

地域で遊ぶ・知る・学ぶ 「機会」づくり

子ども：幼・小・中・高、一貫した地域とともに
ある遊び・学びの場づくり
大人：朝来市を知る・伝える生涯学習

まちの活動やみんなの想いが つながる「仕組み」づくり

- ・ 対話による市民と行政のコミュニケーションの充実
- ・ デジタル＋リアルのオープンな情報共有のプラットフォームづくり



目次

1. 総合計画とは
2. 政策指標と人口の現状
3. 今回の改訂のポイント
4. これから、ともに進めるまちづくり

4. これから、ともに進めるまちづくり

ありたいまちの姿1（学び・人材育成）

「やりたい」につながる多様な学びで、
未来をつくる「人」を育む



市が進める取り組み

- ◆ シビックプライドの醸成、人材育成
- ◆ 生涯学習・スポーツ活動の取組
- ◆ 多様な学びを支える教育環境の整備
- ◆ 人権文化の醸成、芸術文化の振興

市民の皆さんに取り組んでいただくことで期待されること

- ✓ 幅広い世代で地域の魅力、課題を共有
⇒ **地域への愛着、まちづくりへの主体性、
地域課題解決力の向上、新たな発想**
- ✓ こどもたちの成長を地域で支える
⇒ **こどもを育む環境づくり、人と人とのつながり創出**
- ✓ それぞれの得意や関心を生かす
⇒ **地域のにぎわい創出、市民の生きがいにも**

4. これから、ともに進めるまちづくり

ありたいまちの姿2（産業・経済循環）



人と自然が共生しながら 地域で循環する産業を確立する

市が進める取り組み

- ◆ 内発的な経済循環、多様な働き方創出
- ◆ 時代にあわせた農林畜産業振興
- ◆ 観光振興、歴史文化遺産の保存・活用
- ◆ 豊かな自然との共生

市民の皆さんに取り組んでいただくことで期待されること

- ✓ 地元のお店利用、農産物消費等、地域経済の支援

⇒ **持続可能な地域経済の構築**

- ✓ 地域の宝を情報発信

⇒ **地域の魅力拡大、交流人口の拡大**

- ✓ ふるさとの価値を次世代に継承

⇒ **地域の持続的な発展と誇りの継承**

4. これから、ともに進めるまちづくり

ありたいまちの姿3（地域のつながり・交流）

多様なつながり・交流を育み、 地域力をより高める



市が進める取り組み

- ◆ 市民活動の支援と協働体制づくり
- ◆ 自治会、地域コミュニティの支援
- ◆ 移住定住の推進、関係人口創出
- ◆ 多文化共生の環境整備、相互理解

市民の皆さんに取り組んでいただくことで期待されること

- ✓ 自治会活動などに多様な人の視点や力を追加

⇒ **誰もが参加しやすい地域運営を実現**

地域課題解決力の向上、人と人とのつながりを強化

- ✓ 身近な暮らしの情報発信、交流促進

⇒ **移住定住、関係人口の創出**

- ✓ 日常生活でのあいさつ声掛け

⇒ **誰もが安心して暮らせる地域社会の実現**

4. これから、ともに進めるまちづくり

ありたいまちの姿4（健康・福祉）

誰もが居場所や役割を持ち、
健幸で心豊かな暮らしを実感できる



市が進める取り組み

- ◆ 地域共生社会の実現
- ◆ 子育て環境の充実、情報発信
- ◆ いつまでも活躍できる高齢社会の実現
- ◆ 安心な医療体制、健幸づくりの推進

市民の皆さんに取り組んでいただくことで期待されること

- ✓ 世代を超えた支え合い

⇒ **安心して子育てができる地域、見守り体制の構築**

- ✓ 誰もが地域社会の一員

⇒ **生きがいとつながりを実感できる地域社会の実現**

- ✓ 年齢を問わず健康への関心向上

⇒ **世代を超えて元気に暮らせるまちを実現**

4. これから、ともに進めるまちづくり

ありたいまちの姿5（安全・安心）

市民の暮らしを支える 安全・安心な都市基盤を持続する



市が進める取り組み

- ◆ 安全・安心なまちづくり（災害、交通）
- ◆ 再エネ・新エネ、資源の循環
- ◆ 道路、上下水道の維持管理
- ◆ 公共交通の確保

市民の皆さんに取り組んでいただくことで期待されること

- ✓ 災害時に備えた意識と体制づくり

⇒ **地域防災力を強化**

- ✓ 環境意識の向上、資源を大切に

⇒ **地域環境を次世代に引き継ぐ**

- ✓ 積極的な公共交通利用

⇒ **誰もが移動できる地域を未来につなぐ**

ありたいまちの姿6（行財政運営）

まちの動きや情報を戦略的につなぎ、
効率的で健全な行財政運営を実現する

市が進める取り組み

- ◆ 広報・広聴、情報発信
- ◆ 効果的・効率的な行財政運営
- ◆ 職員育成、組織力の強化
- ◆ 広域行政組織・大学等との連携推進





- ✓「できること」から始めましょう
- ✓「やりたいこと」をまちに活かしましょう
- ✓ 子どもから大人まで「つながり」を大切にしましょう



人と人がつながり
幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～

「つながり」が育む 誰一人取り残さない朝来市へ ～ 朝来市重層的支援体制整備事業について～



健康福祉部 社会福祉課

「つながり」が育む 誰一人取り残さない朝来市へ

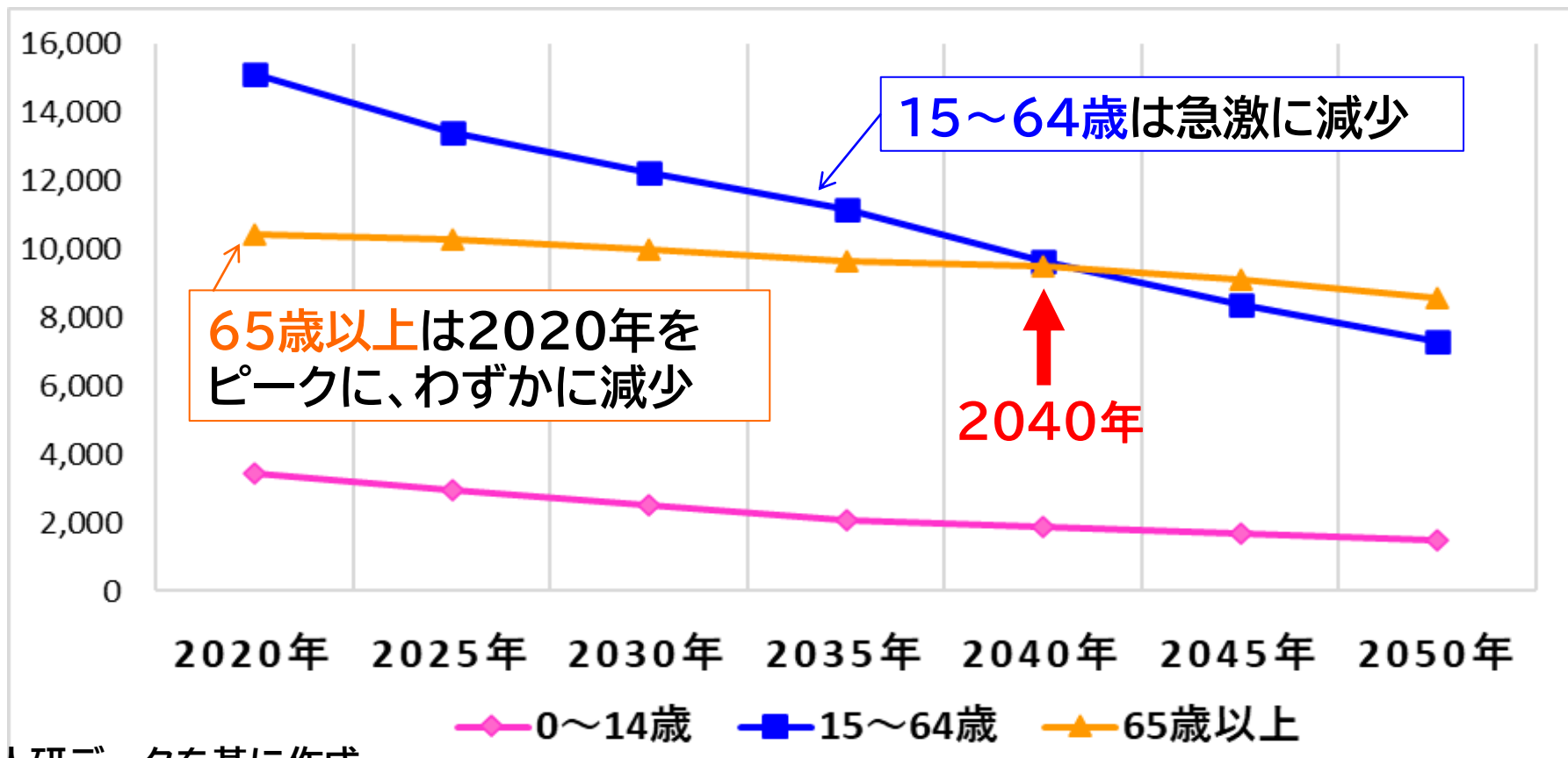
- 1 私たちが直面する課題
- 2 朝来市が目指す「地域共生社会」の実現
- 3 住民の皆さんが主役となる「地域づくり」

「つながり」が育む 誰一人取り残さない朝来市へ

- 1 私たちが直面する課題
- 2 朝来市が目指す「地域共生社会」の実現
- 3 住民の皆さんが主役となる「地域づくり」

朝来市では人口減少と少子高齢化が進んでいます

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
総人口	28,989	26,646	24,733	22,849	20,990	19,187	17,415
高齢化率	36.0%	38.6%	40.3%	42.1%	45.2%	47.6%	49.3%



社人研データを基に作成

私たちが直面する課題

● 進行する人口減少や少子高齢化、現役世代の減少



労働力の減少や、介護・医療の担い手の不足、地域の活力低下などが懸念されている



今後、皆さんの「ちょっと困ったな」に十分な支援が届かなくなる可能性がある



● 大切なこと

- ・ 私たち一人ひとりが「自分ごと」として捉える
- ・ 地域全体で支えあっていける仕組みを創っていく

「つながり」が育む 誰一人取り残さない朝来市へ

- 1 私たちが直面する課題
- 2 朝来市が目指す「地域共生社会」の実現
- 3 住民の皆さんが主役となる「地域づくり」

朝来市が目指す「地域共生社会」の実現

● 「地域共生社会」とは

- ・ 年齢や障害、病気の有無に関わらず、誰もが地域の一員として尊重され、役割を持ち、安心して暮らせる社会

朝来市総合計画

人と人がつながり
幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～



● 「地域共生社会」の実現にむけた取り組み

- ・ 国が進める「重層的支援体制整備事業」を朝来市もスタート
令和8年度（2026年度）から本格実施します

重層的支援体制整備事業

「困っている人」や
「しんどさを抱え
ている人」を
地域全体で支え、
地域を
より住みやすく
する取組です。

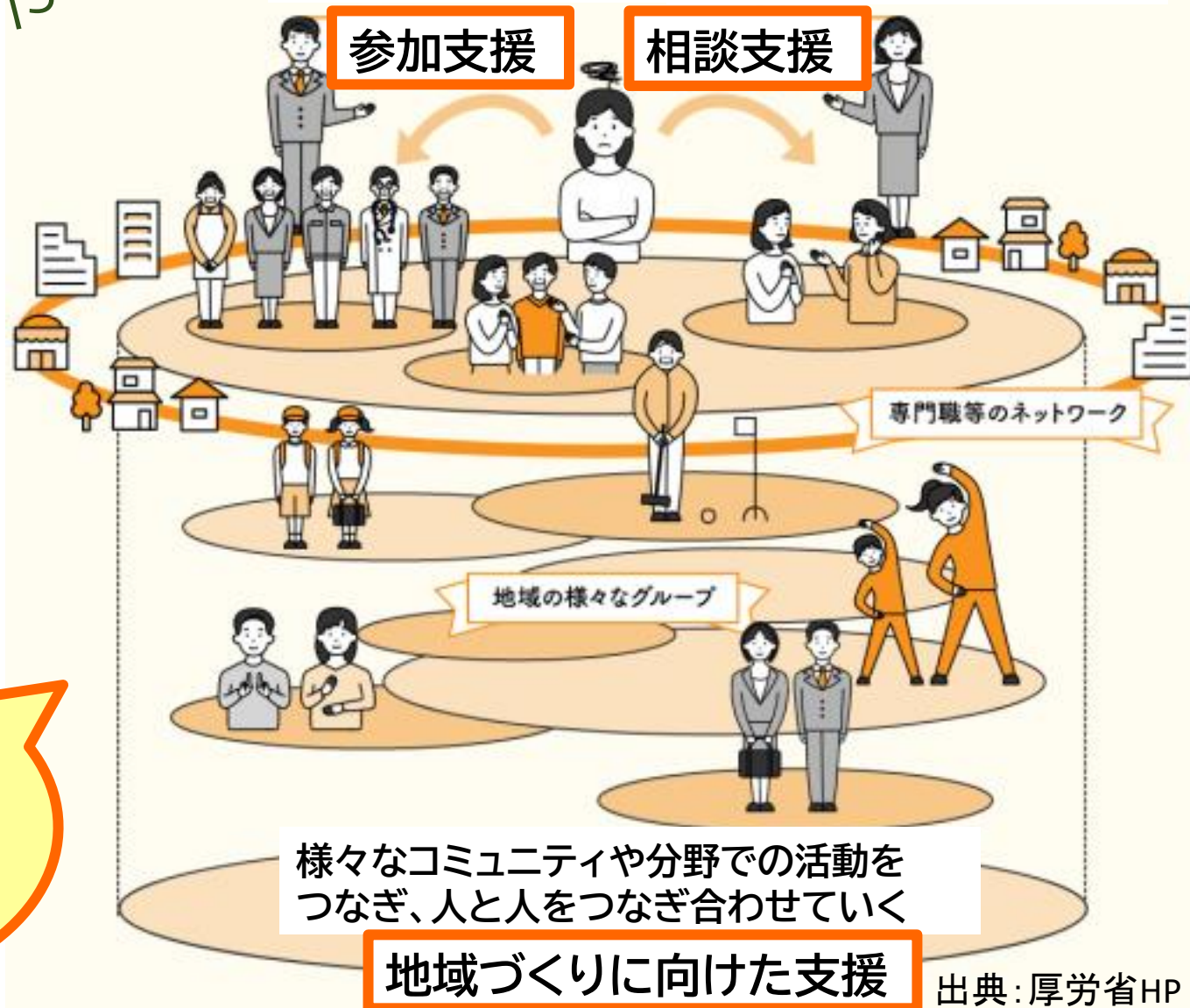
3つの柱を
一体的に取組
む体制づくり

課題を抱えた人や
世帯を地域とつなぐ

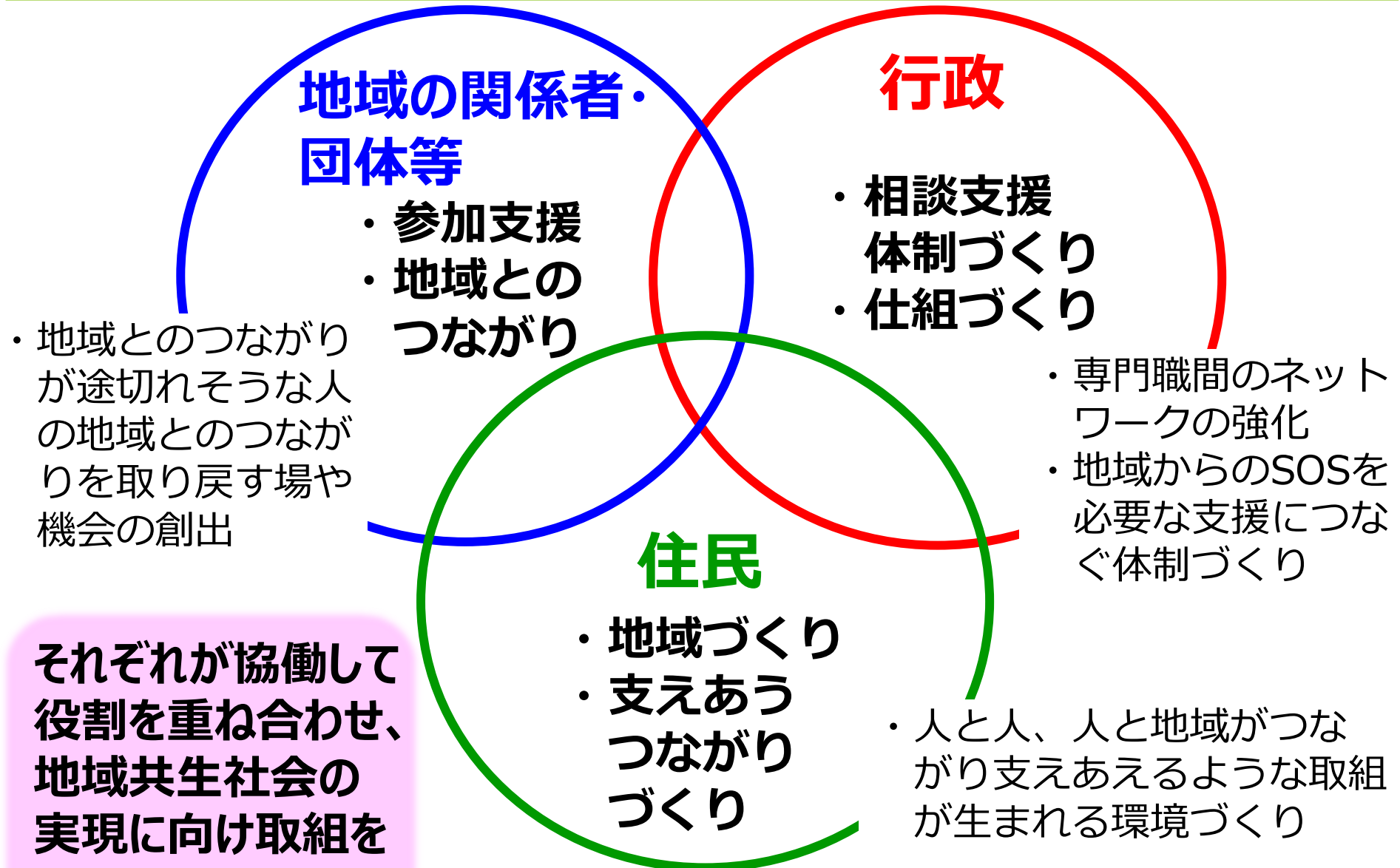
参加支援

課題を抱えた人や世帯を
専門職等につなぐ

相談支援



それぞれの役割が重なりあう「重層的支援体制整備事業」



「つながり」が育む 誰一人取り残さない朝来市へ

- 1 私たちが直面する課題
- 2 朝来市が目指す「地域共生社会」の実現
- 3 住民の皆さんが主役となる「地域づくり」

重層的支援体制整備事業の最も大切な核は、
住民の皆さんが主役となる「地域づくり」です。

地域づくりは

- ・「つながり」を増やす
- ・「支え合い」の力を引き出す

「つながり」を増やす地域づくり



自治協や各地区でのサロン



子ども食堂



地区の行事

気軽に立ち寄れる居場所や交流の場

活動への
参加

活動の
協力

情報の
拡散
(クチコミ)

立ち上げ
の支援

新しいつながりを見つけやすい環境が増えていく

「支え合い」の力を引き出す地域づくり

- ・ 日頃のあいさつや声かけ、助け合いなど、
日頃の支え合いの関係（「困ったときはお互い様」
の関係）を育む



「支えあい」の力を引き出す 朝来市内の取り組みを
紹介します！

ミニデイ 納座元気村オープンカフェ「一笑館」 の取組み

毎月、公民館でのミニデイを楽しみに
参加されていた方が、足の具合が悪くなり
参加されなくなりました。



そこで、ミニデイのスタッフは、また安心して
参加してもらうには、どうしたらよいかと話し合い、

環境を整えることで、また安心して来れるのでは…
と、みんなで介護の勉強会をしよう！



「誰か」のために「自分たち」にできることを考える

福祉マップ（市内20地区）の取組

地区の大きな地図を広げ、区長や民生委員が中心となって、日頃の声かけや見守り、災害時の支援方法など、地区の住民自身が、お互いの支えあい、見守り体制づくりを社会福祉協議会の協力を得て話し合いをします。マップづくりから自然に地域の助け合いが進んでいきます。



みんなで、自分たちの地域、できることを話しあう

なぜ「地域づくり」が大切なのです？

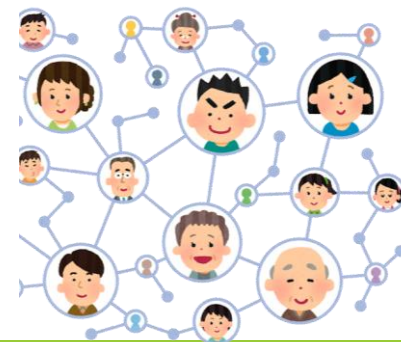
● 「社会的孤立」とは？

- ・ 人とのつながりが極端に少なくなり、
困りごとを誰にも相談できない、
必要な時に必要な支援が届かない状態

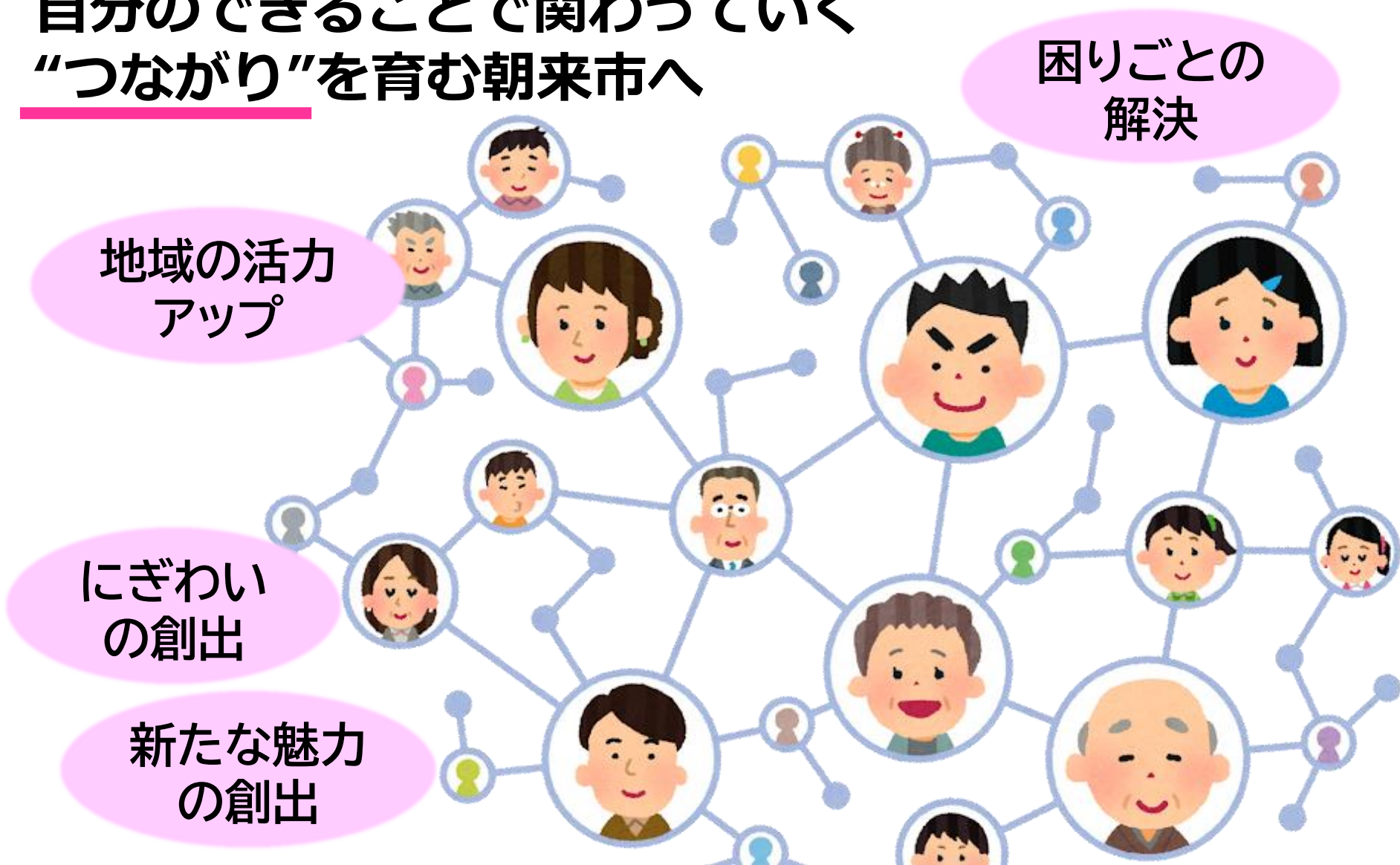


● 地域づくりが鍵！

- ・ 地域みんなが つながり、支え合うことで、
社会的孤立を防ぎ、誰もが安心して
暮らせる「地域共生社会」実現の鍵！



緩やかに 人と人、人と地域 がつながって、 自分のできることで関わっていく “つながり”を育む朝来市へ



誰かの「困ったな」が見過ごされることないように
「つながり」を育み、
誰一人取り残さない朝来市であるよう
市民の皆さんと取り組んでいきたいと
思います。

ご清聴ありがとうございました。



地域に潜む文化財を 未来につなぐ



教育委員会事務局 文化財課

地域に潜む文化財を未来につなぐ

1. 文化財保存と現状

2. 文化財保存活用地域計画とは

3. 策定にむけて

4. おわりに

1. 文化財保存と現状

<文化財とは？>

文化財とは、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産で、私たちの歴史や文化を理解する上で欠かせないものです。

有形文化財

建造物・工芸品など

無形文化財

伝統芸能・技術など

民俗文化財

慣習・年中行事など

記念物

オオサンショウウオなど

文化的景観

鉾山町・棚田など

伝統的建造物群

城下町・宿場町など

1. 文化財保存と現状

＜朝来市の文化財＞

種 別	件 数
国指定	9 件
県指定	33 件
市指定	141 件
国登録	44 件
県登録	19 件
国選定	1 件

合計：247件



1. 文化財保存と現状

<現在の取り組み>

『朝来市総合計画』

個別施策：「後世に残したい歴史文化遺産の保存活用」

『朝来市教育振興基本計画』

重点目標：「地域の歴史文化遺産を保存活用し、継承に努める」



『朝来市歴史文化基本構想』

目標：歴史文化を活かした地域づくりを持続的に進めることで、ふるさとの誇りを共有し、豊かな歴史文化を将来に伝えていく。

1. 文化財保存と現状

<文化財保護法（2019年改正）の趣旨>

過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題であり、未指定を含めた文化財をまちづくりに活かしつつ、**地域社会総がかり**で、その継承に取り組んでいくことが必要である。

すごいものだから触らずそのまま残していこう



地域全体で保存・活用し、
まちづくりにつなげよう！

地域に潜む文化財を未来につなぐ

1. 文化財保存と現状

2. 文化財保存活用地域計画とは

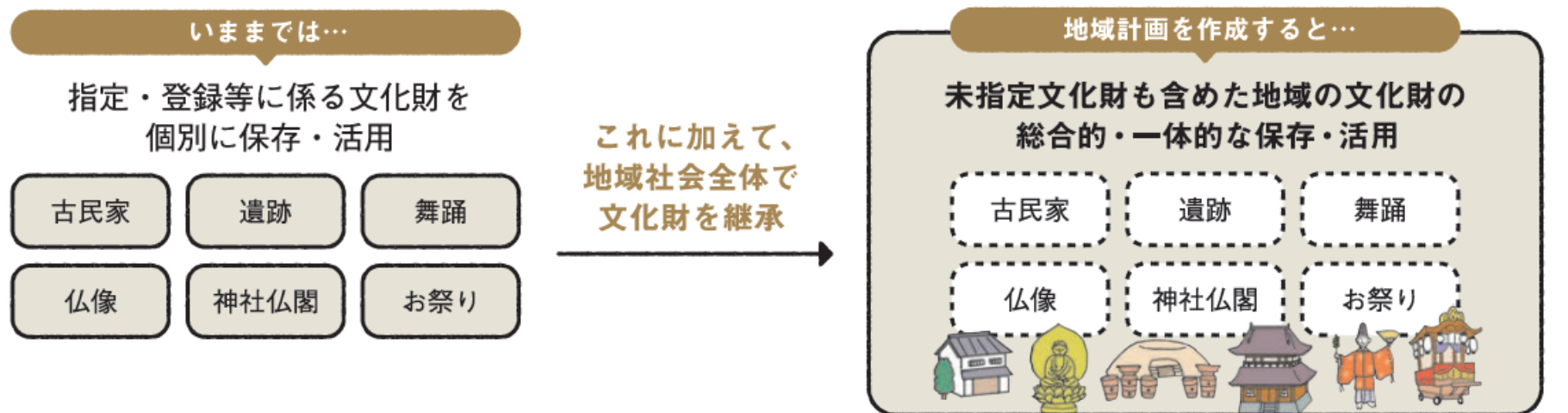
3. 策定にむけて

4. おわりに

2. 文化財保存活用地域計画とは

<文化財保存活用地域計画とは？>

住民・民間団体・行政などが、**地域全体で**文化財を
「守り・生かし・伝える」体制の構築計画。



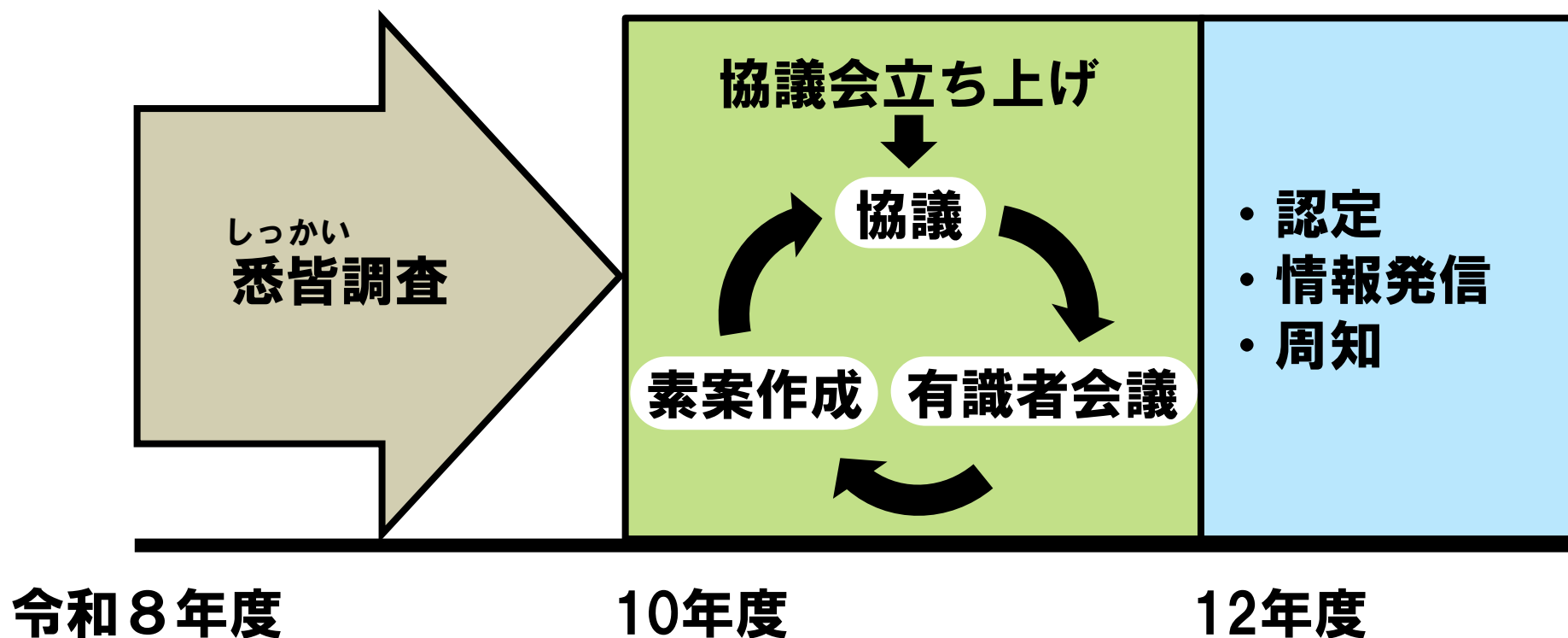
※文化庁ウェブサイトより抜粋

地域に潜む文化財を未来につなぐ

1. 文化財保存と現状
2. 文化財保存活用地域計画とは
3. 策定にむけて
4. おわりに

3. 策定にむけて

<認定までのスケジュール（イメージ）>



3. 策定にむけて

<悉皆（しっかい）調査とは？>

悉皆・・・残らず、すっかり、全部

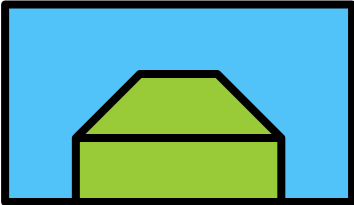
悉皆調査・・・調査対象の全てを調査すること。

今回の地域計画においては・・・

**朝来市全体の文化財に関する情報を
すべて網羅すること**

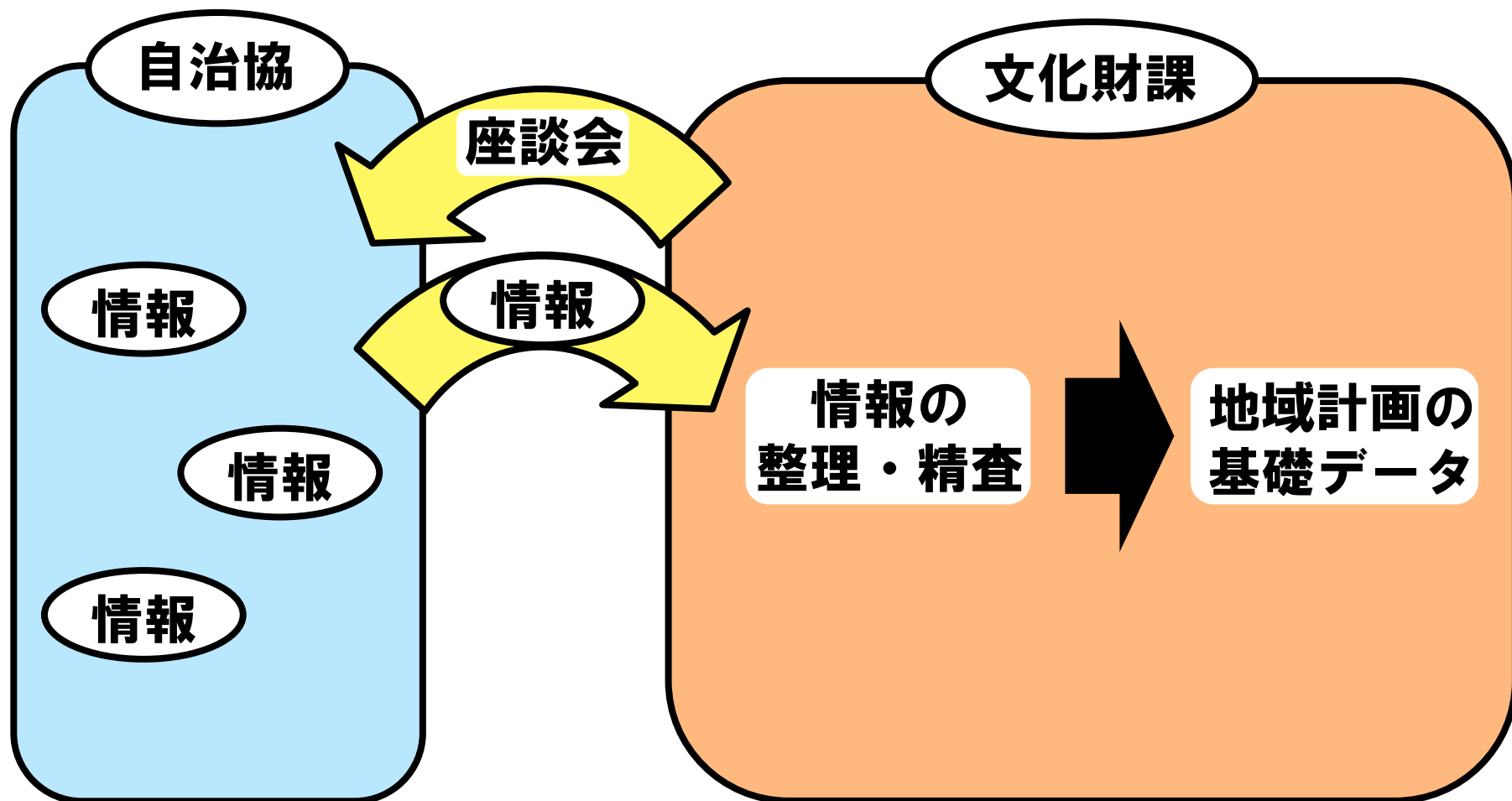
3. 策定にむけて

< 悉皆調査様式（イメージ） >

地区名	〇〇地区
名称	〇〇〇
年代	〇〇時代
所在地	〇〇町〇〇字〇〇-〇
所有者	〇〇 〇〇
内容	~~~~~ ~~~~~
写真・図など	

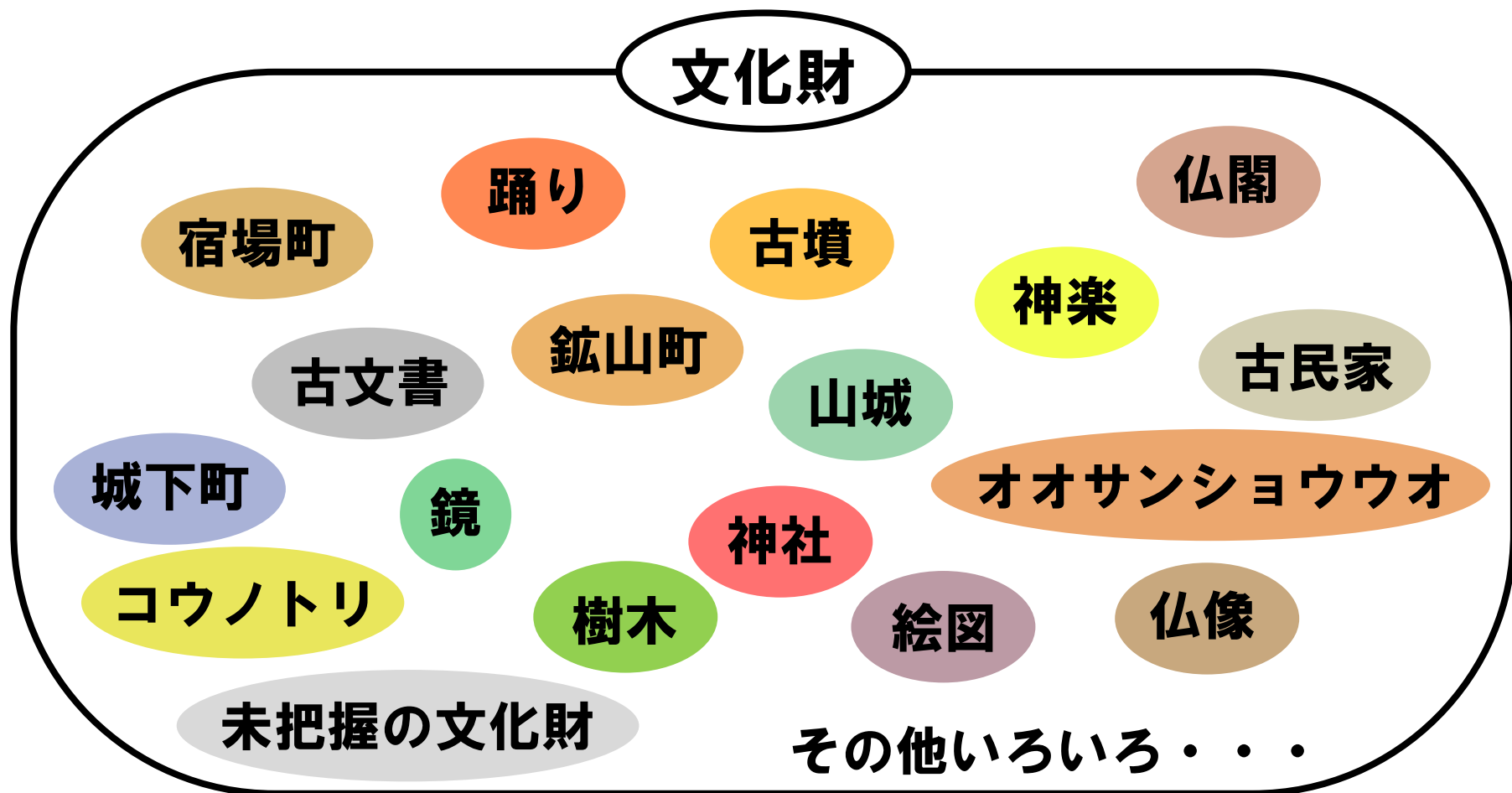
3. 策定にむけて

<調査情報の流れ（イメージ）>



3. 策定にむけて

<文化財の包括的な保護>



地域に潜む文化財を未来につなぐ

1. 文化財保存と現状
2. 文化財保存活用地域計画とは
3. 策定にむけて
4. おわりに

4. おわりに



文化財を未来につなぐため・・・

ご清聴ありがとうございました。